

鹽竈神社の神事と神輿

鹽竈神社と志波彦神社では、年間を通じて様々な神事や多くの祭りが行われます。両神社の神輿は、最も盛大な三つの祭りに登場します。

3 月の「帆手祭(ほてまつり) 」と 4 月の「花まつり」では、鹽竈神社の神輿が市中を巡行します。7 月の「みなと祭」では、両神社の神輿が龍や鳳凰を模した華やかな船に乗せられ、松島湾岸沿いを航行します。祭りの期間以外には、神輿は鹽竈神社博物館に展示されています。

鹽竈神社の黒漆塗りの神輿は 280 年以上前に造られました。この神輿の重さは約 1 トンにもなりますが、祭りの際にはわずか 16 人の男たちに担がれて市街へと続く 202 段の石段を下ります。50 年ほど前に造られた比較的新しい志波彦神社の神輿は鮮やかな朱色です。

この 2 基の神輿に加え、鹽竈神社博物館は江戸時代（1603-1867）から明治時代（1868-1912）にかけての書物や版画などを数多く所蔵しており、その中には当時の神輿行列や祭りの様子が描かれているものもあります。